

こんにちは。サンミです！ 今日で3月も終わりですね。

そろそろ春かな~と思うこの頃、

今年の冬を振り返って見ると色々なことがありました。

1. 青森で初めてスケートリンクに行きました！（しかも歩けるようになった！）

青森にいながら、まともにできるウインタースポーツが一つもない私でしたが、スケートはとても面白かったです。

もう少し練習して来年は3回転(?)できるように頑張ります。

2. 初めて食べた「かけ」

テレビで見てからずっと気になっていた「かけ」をようやく食べることができました。つるんとした食感が、なかなかくせになるものでした。

3. 冬のロマン、念願のストーブ列車に乗る！



窓の外から見える美しい冬景色と、車両のなかに広がる「スルメっこ」の匂い、元気で愉快的な人々の声一つになったその光景はとても温かく、そこにいるだけでとても幸せな気持ちになりました。今の時代、こんな感じの列車はなかなかないため、末永く走ってくれれば良いなと思いました。

青森での3回目の冬も終わりました。（終わったかな？冬…）

まだまだ経験していない新しい青森の魅力を探しながら、今年も頑張りたいと思います。ではまた！

From Rokkasho with love, Sangmi♡

2014年3月31日

皆さん、

こんにちは！ジェニーです。

もうすぐ青森県でも桜が開花するためか、最近では花見の話が多いですね。「今年はどこに行こうか？」「桜はいつが見頃だろうか？」など桜の話題でもちきりです。そして「ドイツにも桜があるの？ドイツ人も花見をするの？」と聞かれます。なので、ここで簡単に答えたいと思います。

ドイツにも桜の木がたくさんあります。ちょうどおととい、両親がこの写真を送ってくれました。



実家の周辺を散歩した時に撮った写真だそうです。私の両親のように、散歩のついでに桜を楽しむドイツ人が多くいると思います。ですが、「桜を見よう！」と思って散歩するわけではないかもしれません。「花見」という考えもドイツにはありません。ピクニックやバーベキューが大好きなドイツ人が花見をしないなんて、少し不思議ですね。しかし考えてみると、ドイツ人はもともと外でゆっくり過ごす時間が多いので、「花見をする」という理由を作らなくても、自然を楽しむことができるからだと思います。

From Rokkasho with love, Jenny♡

2014年4月14日

Blog Entry 63 可愛い間違い

日本でも大人気なドイツのバウムクーヘン！日本ではドイツよりも色々な味が作られていて、様々な所で売られている感じがします。確かにバウムクーヘンを知らないという日本人には会ったことがないかもしれません。

しかし、「バウムクーヘン」という言葉がドイツ語だと知っている、またはその言葉の意味が分かる人は割と少ないと思います。

「バウムクーヘン」という言葉は「バウム」(木) と「クーヘン」(ケーキ)からできた複合語で、その模様が木の年輪に似ていることから付けられています。日本の商品ではよく「リンゴのバウム」や「イチゴのバウム」などと省略されますが、「バウム」は「木」という意味なので、ドイツ人である私からすると、とてもおかしくて、見るたびにニコニコしてしまいます。可愛い間違いですね。



From Rokkasho with love, Jenny♡

2014年5月7日

こんにちは。サンミです！
皆さん、桜は楽しみましたか？
私は、弘前城と小岩井農園に行ってきました。



弘前城は今年の秋から濠埋め立て工事が始まり、約 10 年間石垣修理工事が行われる予定なので、水面に映る天守と桜の光景は、しばらく見られなくなります。
私は、季節が変わればいつも奥入瀬溪流と弘前城を訪ねていたため少し残念ですが、末永く皆に愛される場所であるためには必要な事ですね。
10 年後、新しくなった姿もぜひ見に行きたいです。



そして小岩井農場の一本桜！小岩井農場には初めて行きましたが、とても素敵でした。



今週末は、
六ヶ所の春の祭り
「たのしむべ！フェスティバル」が開かれます。
ぜひ足を運び、楽しんでください！

From Rokkasho with love, Sangmi♡

2014 年 5 月 9 日

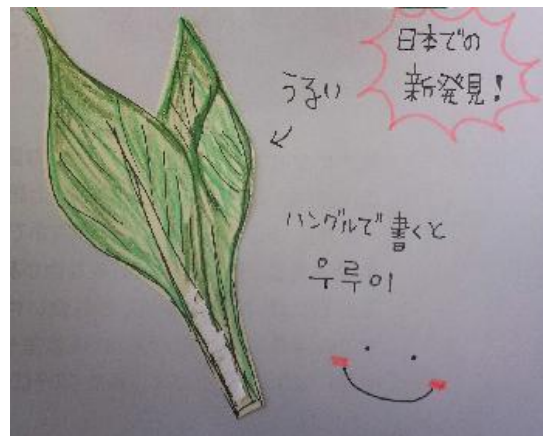
こんにちは。サンミです!

今日は生活の些細な変化について話したいと思います。

今はほとんど聞かれる事もないですが、以前よく聞かれたのは、「毎日辛い物食べるの?」との事でした。確かに韓国料理と言えば「真っ赤」なイメージがありますが、私にとって、主食と言えば「ご飯・納豆…」から始まります。ほぼ毎食納豆を食べています。大粒の方が好みですかね～ただ、最初から好物だった訳ではありません。

六ヶ所に来てからの変化ですかね。梅干しや大葉もそうです。

日本に来て食べる機会が増えて、美味しいと感じるようになりました。



☞ 写真がなかったので書いてみました!

そんな何でも食べる私の最近の日本新発見は「うるい」でした。八食センターの中で色々見ていたら、葉っぱが大きいネギのようなものが見えたので聞いてみたら「あら～どこから来たの?うるい知らないの?」と店の人が食べ方まで親切に教えてくれました。

酢味噌をつけて食べたら美味しかったです～!ただ、ネットで検索しても韓国語で出てこないの、きっと韓国にはないと思います。

日本と韓国のスーパーは確かに似たような感じですが、よく見れば「日本ならではの」ものもたくさんあります。その差を一つずつ見つけて食べてみる、そして毎日の食卓に韓国と日本の食材を両方あげること、私の日頃の国際交流はテーブルの上から行われています。

韓国には無さそうだな～と思われる、日本の独特な食材があればぜひ紹介してください。

From Rokkasho with love, Sangmi♡

2014年6月2日

Blog Entry 66 些細な変化(食べ物のグローバル化)②

こんにちは。サンミです！今日は引き続き食べ物のお話です。

最近のマイブームといえば、ベーキングです。

実は私、ベーキング経験…ゼロでした。クッキーもケーキも大好きですが、自分で作ろうと思ったことは一回もありませんでした。そんな私ですが、六ヶ所に来て色々な国の外国人と触れたり、また同僚の影響もあり、いよいよ手作りお菓子に目覚めました！やっとオーブンを使うようになりました。今までオーブンといえば…冷めたピザを温める時と手羽先を焼く時以外には使った事がなかったのですがもっと女子力が高いメニューにも挑戦するようになりました。



最近ハマっているのは、スコーン！
シンプルな味が午後のデザートにぴったりです。
レシピは6月の広報と一緒に配られる
「六ヶ所 world」に載せましたので、
気になる方はぜひ、そちらをご覧ください。

他にもチーズケーキやクッキーなど
色々なジャンルに挑戦中です。
形とかは、なかなか思ったようにならないですが、
とても美味しいです。(本当に…)

作ってみたらなぜか猫の形になっていました☺



異文化交流フェアや料理教室で様々な国の人と触れ合うようになってから、異国の(食)文化に魅力を感じ始めたと思います。今の時代、どのレシピもパソコンやスマホで一回検索するだけで出てきます。どんどん世界に繋がるために必要な物があるとしたら多分それは情報とかではなく、触れ合いやきっかけかもしれません。村では、4種類の語学クラス、料理教室や異文化体験行事、異文化交流フェアも行われています。外国に触れるチャンスは常に私たちのそばにある！って事ですね。

国際交流、グローバル感覚というのは、堅苦しい概念とかではなく、こんな些細な変化ではないでしょうか。そんな気がしたある一日でした。

From Rokkasho with love, Sangmi♡

2014年6月3日

皆さん、こんにちは！ジェニーです。

先週、鹿児島県に行ってきました。武家屋敷が残っている知覧町や桜島などきれいな所をたくさん見てきましたが、一番面白かったのは砂むし温泉でした。砂むし温泉では身体を温かい砂の中に埋められますが、入っている人は砂から頭しか出ていないので、とても不思議な見た目になります。「本当に気持ちいいのかな」と疑問に思っていたのですが、実際に入ったら、とても落ち着けて、いい感じでした。皆さんも、もし九州まで行ったら、是非砂むし温泉に入ってみてください。



From Rokkasho with love,

Jenny♡

2014年6月20日

皆さん、お久しぶりです！ジェニーです。

先週、見たことのない外国人3人を目にした方はいませんか？

おそらく夏休みに、私に会いに来ていた両親と叔母です。

10日間もいたので、八戸市の三社大祭や青森ねぶたといった祭りはもちろん、
仏ヶ浦や田舎館村の田んぼアートまで、青森県内の様々な所を案内しました。

家族はどこに行っても、「綺麗だな～！」、「面白いね！」、

「やっぱり日本は素晴らしいね！」とずっと青森県の景色、

祭りや施設などを褒めていましたが、すでに2年間六ヶ所村に住んでいる私も、
非常に感動する所をまた一か所見つけました。

それは六ヶ所村と東通村の境にある物見崎灯台(白糠灯台)です。

そこからの景色は一日中眺めて過ごしてもいいぐらい綺麗でしたよ。

皆さんも物見崎灯台によく行っていきますか？



From Rokkasho with love,

Jenny♡

2014年8月11日

皆さん、こんにちは。サンミです。ご無沙汰です。

9月に入りました。

すっかり涼しくなり、私は先週から家では冬用のパジャマを着ています。

皆さんはどうでしょうか。風邪引かないように気をつけてくださいね。

さて、先週土曜日は国際教育研修センターで夕涼み会が開かれました。

ほとんどの参加者が「夕涼み会」を経験した事がなく、

初めて見る日本の夏の過ごし方に、とても賑やかに盛り上がりました。



私はヨーヨー釣り担当でしたが、実は今までヨーヨーの経験はゼロ！

しかも最初「祭りでヨーヨーも出すよ～」と言われた時は

くるくる回るあの yo-yo だと思いました。

(←絵心あふれる作品)

後で同僚からやり方を教えてもらって、ハマってしまいました。

それにしてもヨーヨー釣りは子供たちには難しい！

最初は笑顔で「やりたい～～！」と来た子供たちが、

何回も何回も紙が切れて泣きそうな顔になりました。

そこで思い出したのが「ティッシュ」細く切ってそれを紙と一緒にくるくるよじったら、

濡れてもすぐには切れない頑丈な物に！

「ちょっと待ってね！特別に魔法をかけた物をあげる～！」と言って

強度を上げた釣り具を持たせたら、みんな大喜びでした。

(そして頑丈になりすぎて、ヨーヨーを三つ釣っても切れない状態が…)

結果、10個以上釣る「ヨーヨー名人」まで登場しました。

でも、大人には魔法をかけてない(?)釣り具を渡しました。

「なぜ子供たちはあんなに上手なんだ！」と

疑問を抱いたまま夕涼み会は終了。

何事もそう簡単には行かないと改めて気付いた

8月の最後の日でした。



From Rokkasho with love, Sangmi♡

2014年9月4日

皆さん、こんにちは。ジェニーです。

8月の広報にも載っていたのでご存知かと思いますが、10月17日(金)に「オクトーバーフェスト in 六ヶ所(ドイツビールの試飲)」というイベントを開催します。

「オクトーバーフェスト」というのは毎年9月下旬～10月上旬にドイツのミュンヘン市で行われている非常に有名な祭りです。

日本のテレビでもよく紹介されますが、

一番印象的なのは容量1リットルのビールジョッキ、

そして男性が履く「レーダーホーゼン」(皮製の半ズボン)と

女性が着る「ディアンドル」(ブラウスとエプロンが付いているドレス)だと思います。

「レーダーホーゼン」と「ディアンドル」は、世界の国々でよく「ドイツの民族衣装」として紹介されますが、実は皆さんのイメージと少し違います。

オーストリアと南ドイツ(バイエルン州)以外の地域では着られていないからです。

地域によって別の民族衣装もありますが、「レーダーホーゼン」と「ディアンドル」と違ってドイツ国内でも外国でもあまり有名になりませんでした。

私はドイツの西の方にあるボン市の近くで育ちましたが、

祖母は元々バイエルン州出身なので、私も小さい頃、

とてもお気に入りの「ディアンドル」を持っていました。

それ以来、ずっとまた「ディアンドル」がほしいと

思っていました、

着るきっかけがなかったので、結局買わずにいました。

ですが今！

今月のオクトーバーフェストの開催で

「ディアンドル」を買う理由ができました！

まさか日本にいる間に、

大人の「ディアンドル」を買うとは夢にも思わなかったです。



From Rokkasho with love,

Jenny♡

2014年9月25日